

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	1・4・1	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	レクリエーションスポーツ活動の推進					
③ 目標	スポーツ関連事業、各種大会の内容等に満足している割合			施策の内容	誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、レクリエーションスポーツ、ニュースポーツを広く普及し、健康づくり、生きがいがづくり、地域コミュニティづくりを進めます。	
④ 現状と課題	<p>◆ ライフスタイルの変化や健康志向の高まりから、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まり、ニーズも多様化しています。</p> <p>◆ 本町では、各種施設の維持管理を進めながら、健康や体力づくりに関連した事業を定期的で開催し、町民の健康づくりの機会を創出してきました。なかでも、「丸森ウォークラリー大会」、「サイクルフェスタ丸森」は、レクリエーションスポーツとして浸透しており、「丸森町健康まつり」も定期的で開催しています。</p> <p>◆ スポーツは、心身の健全な発達に役立つだけでなく、地域社会の中で交流の場となり、連帯意識の向上につながる機会でもあります。これまで行ってきたスポーツ・レクリエーションの取組みを継承しつつ、町民が自分にあったスポーツを日常生活の中で取り組めるような環境づくりが必要です。</p>					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
ニュースポーツ事業参加者数	人	1,068	1,014	1,976	1,200	1,300	1,400	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	467	522	854	854	854

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	丸森ウォークラリー大会の開催、出前講座によるニュースポーツ活動の普及・紹介、スポーツ推進委員が中心となり地区へ出向いてのニュースポーツ普及研修会の実施、新たなニュースポーツ用具の購入・紹介などにより、ニュースポーツ活動の推進を図った。 また、宮城県エアロビクス連盟と連携し、町民の健康づくりも目指したスローエアロビクス体験会を開催し、体験会終了後自主団体を立ち上げ継続的な自主活動を図った。	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	丸森ウォークラリー大会の継続した開催、出前講座の活用によるニュースポーツ活動の推進、スポーツ推進委員を中心としたニュースポーツ活動の普及への取組みをさらに進める。 町民のニーズの把握に努め、要望にあったニュースポーツを紹介できるよう、種目の選定・用具の購入を行い普及を図る。
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 町民のニーズの把握に努め、要望にあったニュースポーツを紹介できるよう、種目の選定・用具の購入を行い普及を図る。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 引き続き町民のニーズの把握に努め、要望にあったニュースポーツを紹介できるよう、種目の選定・用具の購入を行い普及を図ること。